

# 話すこと・聞くこと

## 大事なことを落とさずに聞き、工夫されたメモを取ること

### つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

話し手の伝えたい大事なことを聞き落とさず、工夫してメモすることができない。

### 具体的なつまずきの姿

- ・何でもメモしようとして、大事なことを聞き落としてしまうメモになる。
- ・メモはしているが、整理の仕方が不十分で、話のまとまりがとらえられていないメモになる。
- ・聞きながらメモを取ることに追いつけず、途中で書ききれないメモになる。

### 実践の概要

単元名

大事なことを落とさない聞き取りメモ名人になろう

『聞き取りメモの工夫』光村図書

- 目標
- ・話を聞き、要点をメモに取る。
  - ・目的や必要に応じて情報を聞き分け、自分にとって大事なことを聞き取る。
- 内容
- ・メモを取った経験について話し合う。
  - ・メモを取ってみる。
  - ・メモの工夫について話し合い、まとめる。
  - ・実際の場面でいかす。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第6学年	立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう	話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って、助言をすることができない。
第5学年	田鶴野小を良くするために提案書を書こう	話し合う場面で、異なる意見を一つにまとめられない。
第4学年	大事なことを落とさない聞き取りメモ名人になろう	話し手の伝えたい大事なことを聞き落とさず、工夫してメモすることができない。
第3学年	幼稚園さんに学校生活の様子をつたえよう	互いの考えの共通点・相違点を的確に見つけられないために、意見がまとまらない。
第2学年	つたえたいことが聞く人によくわかる「あったらいいな、こんなもの発表会」をしよう	話し手が話した内容について、質問・アドバイス・感想が言えない。
第1学年	きいて しらせよう	大事なことを意識して聞き、そこから質問を見つけることができない。

### 単元末の目指す姿

- ・話の中心である大事なことを聞き落とさずに、自分にとって必要な情報を聞き取れる。
- ・聞きながらメモをする中で、メモを書くときの工夫と、後で見直したときにわかりやすくなっているメモの工夫を使うことができる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

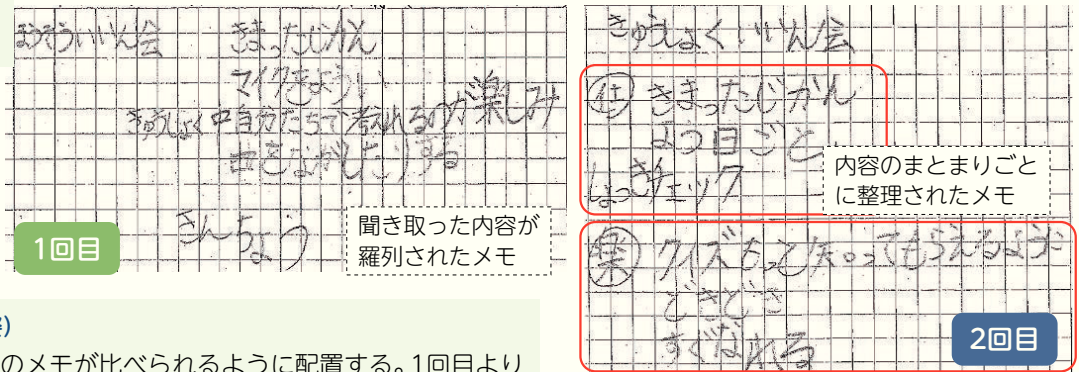
### 同じ構成で内容を変えた説明を聞き、メモを取って比べる活動を行う。

活動のねらい▶ • 1回目の聞き取りメモと、2回目の聞き取りメモを比べ、自分のメモが工夫を勉強したことでより良くなったことを実感する。

#### ここがポイント

説明はゆっくりと話し、話のまとまりがとらえやすい構成にして用意する。1回目と2回目は、同じ構成で内容を変えた説明にする。そうすることで、工夫を話し合った後、2回目の説明を聞きながら、余裕をもって、まとめた工夫をいかしながらメモを取ることができる。

#### メモの変化



#### (期待される児童の姿)

ワークシートも2つのメモが比べられるように配置する。1回目よりも2回目の方が、話のまとまりで整理するという工夫をいかし、話のまとまりがとらえられているメモを書けるようになったことを実感させる。

## つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

### 友達のメモや、教科書のモデルメモから工夫を見つけ、話し合う活動を行う。

活動のねらい▶ • 友達のメモや、教科書のモデルメモから工夫を見つけることで、キーワードを書くなどの聞きながらメモを取る工夫と、内容ごとに整理するなどの後から見やすいメモにする良さを知る。

#### ここがポイント

班の中で自分のメモの工夫を紹介し合う。そして、全体には、班の中で最も工夫されたメモを紹介させる。発表では、その工夫をした理由を話させるようにする。また、全体では、教科書のモデルメモを提示し、友達同士では見つからなかった工夫を見つけさせる。それでも見つからない時は、教師が示す。

#### 授業の様子



#### (期待される児童の姿)

なぜその工夫がいいのか理由をはっきり話すことで、「聞きながら取れる工夫」なのか、「後で見やすい工夫」なのかが伝わり、他の児童も理解しやすい。2回目を行う前には、児童にどの工夫を使って取り組むのかを決めてからメモをするように指示すると理解しやすい。